

第3回おやじサミット作戦会議

日時：2013年4月6日（土）19：00～21：00

場所：エルパーク仙台

参加者：石垣（ネットワーク）

坂口（上杉） 照井（鹿島台）高橋（中新田）

元木（宮城県）佐々木（磨：八木山南）

小幡、原田、伊藤、善波（寺岡）

千葉、杉山、玉上（稲井）高梨（向山）

早坂（南中山） 村上（全父子連）

佐々木（健治：八乙女）



議 事：

(0) 善波委員長あいさつ

(1) 第2回打ち合わせ（3/9）の概要説明

(2) 議題について



a) 一分間スピーチ（寺岡:小幡、原田）

- ・「おやじ、本気」について真剣に考える機会
- ・これからやりたいことを1分間で発表
- ・硬い発表より、パフォーマンス重視で良いのではないが
- ・発表方法は自由
- ・応募多数の場合は、事前に抽選という方法もある

b) 分科会テーマ（担当者）

①震災体験

①- 1 おやじの連携（石垣、千葉）

①- 2 父子家庭 これまでと、これから（村上）

②日韓（石垣）：晋州（チンジュ）市から5～6名来る予定

③おやじのジレンマ（坂口）

・成熟期ゆえの悩み、ジレンマ、失敗談などを語り合う

④地域とどう関わるか（杉山）

・PTAとの違い、父親と地域、学校との関わり方。時間のつくりかた

⑤幼児のためのアミューズメント（高橋、玉上）

⑥校庭で縁日（照井、小幡）

- ・子どもたちが楽しめる仕掛け。
- ⑦おやじの会の作り方
予備 地方ならではの取り組み

- ・分科会の時間はどの程度？
- ・ディスカッションを行う前に話題提供（事例発表）すれば時間とられる
- ・来た人たちにも議論してもらいたい
- ・事前にどの分科会に参加したいか、希望をとる必要があるのでは？
- ・全員での議論は不可能だから、テーブルディスカッションの手法はどうか？
⇒小グループで意見交換、グループでまとめた意見を後で発表
- ・これまでのサミットは、ほとんどが事例紹介
- ・6月までには、分科会テーマと会場を固めたい



c) 前日のイベント（石巻）

<千葉さんからの提案>

- ・復興マルシェにとどめるのは難しい
- ・震災で失われたもの、これからどうする—をテーマとした意見交換会をやりたい
- ・震災経験語れるスピーカー3名にお願いしている
(小学生、湊二小の前校長、前東松島市教育長)
- ・学校関係者の被災体験を聞く機会が少ない。どういう気持ち、考え方で子供を守ろうとしたのか、学校、PTAの今後の役に立ててもらいたい
- ・所要時間は2~3時間

<提案に対する意見>

- ・被災地を何ヶ所か見てもらうのはどうか
- ・サミット当日の分科会にスピーカー呼ぶのはどうか
- ・体験談を往復のバスの中で話してもらうのはどうか
- ・会場をおさえるにしても、何名参加してくれるか？バスは何台必要か？
- ・あらかじめ参加希望を募る必要あるのでは？（参加希望希望は、分科会も同様）

d) 大交流会（照井、多賀城・佐々木）

- ・ 12、13の両日に交流会を開催。
- ・ 大交流会の13日は大安。200-300人規模での会場はホテルしかない。
- ・ 二次会以降のアクセス考えればホテル江陽か？

e) 屋台（まとめ役は寺岡）

- ・ 炊き出しプレ体験
- ・ 近隣の町内会に声がけて、参加してもらうか？
- ・ 何を出す？何食分出す？食券必要？
- ・ 近隣に声がけすれば、近隣の住民も買いに来るだろうし、数が読めない

f) 当日のスタッフ

- ・ 現在の参加メンバーだけでは圧倒的に足りない。
早い時期に呼びかけるのが妥当
- ・ プレチラシを送付する際にあわせて告知

g) プレチラシなど告知方法

- ・ おやしサミット「掲示板」立ち上げ・・・しない。
- ・ プレチラシのデザインは概ねOK。主催者名、後援、開催趣旨、問い合わせメールアドレスなどを盛り込み、両面印刷する。



h) 予 算

- ・ 実行委員会に委託される予定の予算：768,700円に対し、昨年の札幌サミットは120～130万。神戸サミットは180万。これは会場の大きさにもよりけり。
- ・ 何らかの手法で100万集めなければならない。助成申請あるいは企業協賛か
- ・ 参加費を徴収するのはどうか？2泊3日で参加する人にとっては負担大
- ・ 5月中には予算書を作らなければならない

次回は 5月11日（土）18:00-21:00

青葉区中央市民センター 第4会議室

*親父によく似合う、文化横丁 いろは横丁のすぐ近く